



愛知県立岡崎東高等学校

JRC部



「今までのボランティア活動」

- ① 児童育成センター (お楽しみ会でクイズ大会)
- ② 募金活動 (街頭で募金の呼びかけ)
- ③ 献血呼びかけ (街頭で協力を呼びかけ)
- ④ 放課後デイサービス (お楽しみ会で工作)
- ⑤ 手話の啓発活動 (手話甲子園全国大会出場)
- ⑥ 異年齢交流 (様々な年代の人と交流)
- ⑦ 地域イベント補助 (プラバンコーナー運営)
- ⑧ 地域防災ボランティア (炊き出し訓練ボランティア)
- ⑨ 特別支援学校と交流会 (一緒にレクリエーション)
- ⑩ 高齢者施設 (楽しくコミュニケーション)
- ⑪ 地域災害時要援護者宅訪問活動 (地域の災害時要援護者の自宅を訪問し、課題やニーズの発見、独居老人の方の安否確認、手紙での交流など)

【活動プロフィール】

愛知県立岡崎東高等学校は青少年赤十字加盟校であり、JRC「Junior Red Cross」部があります。昭和50年にJRCに加盟してから、40年以上に渡りボランティア活動に取り組んできました。今までは、「募金」「交流会」などが主な活動内容でしたが、従来の活動も大切にしながら、そうした活動だけではなく、「今、必要なボランティア！」を活動目標に、常に部員同士で話し合いを重ねながらボランティア活動に取り組んでいます。少子化対策における「子育て支援」に関するボランティアに取り組みたいという意見が多く出たため、児童育成支援センターや放課後デイサービスのボランティアを取り入れてきました。さらに、高齢化に伴い増加している独居老人宅訪問が意見として出たため、地域の総代・民生委員さんの協力のもと、災害時要援護者宅（独居老人含む）の訪問活動を取り入れて活動してきました。部員が「気づき・考え・行動する」ことにより、ボランティア活動が活性化してきました。現在では、地域のボランティアを担う重要な存在となってきています。

医療従事者への募金活動



マスク寄付活動



「コロナ禍で生まれた差別、偏見をなんとか防ぎたい！」という意見が多く出ました。コロナ差別に対して私たちにできることを探していた時に、「シトラスリボンプロジェクト」を知りました。「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながり、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができるという考えに賛同し、身近なところから「シトラスリボン」を広めていく活動に取り組み始めました。文化祭で「シトラスリボン」を配布して生徒へ呼びかけ活動を行っていく予定です。さらに、校内だけではなく、地域の中でも啓発活動に取り組んでいます。

飛沫感染予防として、声を出しての呼びかけはせず、一定の間隔を保ちながらパネルを持って募金を行いました。



衛生面に気をつけ、子どもに人気の柄を選び、家庭料の先生に助言を受けながら、耐久性がある子ども用のマスクを手作りして、地域のこども食堂と高齢者施設へ寄付しました。



ひまわり里親プロジェクト&コンタクトレンズ空ケース回収



育てたひまわりの種を送り、福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の「絆」を深めるプロジェクトです。



シトラスリボン普及活動

最近の活動内容

- 地域でのボランティア
- 飾りつけボランティア
- 奉仕作業
- 図書館・書架整理
- イベントでの受付や司会

介助犬理解促進

介助犬理解促進へ向けた今後の活動計画

- ① SNSの発信
- ② 校内での広報
- ③ ボランティア時の広報活動

介助犬理解促進隊



「愛知県には、長久手市に日本初の介助犬専門訓練施設シンシアの丘という介助犬の訓練施設があります。」
「介助犬に興味・関心を抱き、介助犬の事をもっとみんなに知ってもらいたいと思い、文化祭では実際に介助犬PR犬と職員の方、ボランティアの方にお越しいただき、介助犬の理解促進を図る介助犬コーナーを企画しました。」

公益財団法人 愛銀教育文化財団
「Ayuchi」第94号 (2023年1月) に
掲載されました。





岡崎東高校JRC部【Q&A】



岡崎東高校ってどんな学校？

昭和50年4月、地域の大きな期待を受け、岡崎市竜泉寺町に全日制課程普通科の高等学校として創立しました。平成20年度に「普通科」から「総合学科」に改編されました。2年生から生徒は、「自然科学系列」「環境系列」「人文科学系列」「国際理解系列」「ライフサポート系列」「情報系列」「スポーツ健康系列」の7系列に分かれて進路実現に向かって学んでいきます。

JRCって何？

JRCはJunior Red Crossの略で、青少年赤十字を表しています。外国では「Red Cross Youth(RCY)」と呼ばれることもあります。赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界のひととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動に取り組んでいます。

JRC部の今までの活躍は？

<過去の受賞歴>

- 2016年度 手話パフォーマンス甲子園全国大会出場
- 2017年度 手話パフォーマンス甲子園全国大会 梨果賞受賞
- 2017年度 ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞受賞
- 2017年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 優秀賞受賞
- 2017年度 日本赤十字社本社スタディセンター 愛知県代表として参加
- 2018年度 手話パフォーマンス甲子園全国大会 梨果賞受賞
- 2018年度 ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞受賞
- 2018年度 高校生ボランティア・アワード全国大会出場
- 2018年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 優秀賞受賞
- 2018年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 審査員特別賞受賞
- 2018年度 日本赤十字社国際交流事業 愛知県代表として参加
- 2019年度 高校生ボランティア・アワード全国大会出場
- 2019年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 優秀賞受賞
- 2019年度 日本赤十字社本社スタディセンター 愛知県代表
- 2020年度 ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞受賞
- 2020年度 高校生ボランティア・アワード全国大会 平原綾香賞受賞
- 2020年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 最優秀賞受賞
- 2021年度 学生ソロプチミスト賞受賞
- 2021年度 愛知県高文連ボランティア専門部活動発表県大会 優秀賞受賞

福祉的な学びもやってるの？

「介護理解促進福祉協力校」の指定を受け、「介護理解促進福祉協力校事業」に取り組んでいます。

担当教員の声<総合学科主任、JRC部顧問 塚元雅則教諭>

現場で働く人の生の声を聞き、職業としての介護への理解が深まる

今回の出前介護講座は2年生の「生活支援技術」を選択している生徒が受講しました。岡崎東高校ではJRC (Junior Red Cross「青年赤十字」)部の活動も積極的に進めていて、高校生手話/パフォーマンス甲子園全国大会やボランティア・アワード全国大会に出場したり、日本赤十字社国際交流事業の愛知県代表として参加しています。今年度もボランティア・アワード2020で平原綾香賞をいただきました。しかし、「生活支援技術」を選択している生徒もJRCの部員も、介護に目向く生徒は多くありません。そこで、高齢者や障害者への介護という視点を持ってくれる生徒が増えることを期待して介護理解促進福祉協力校に指定していただくことになりました。

出前介護講座では現場で働きながら大学で教えていらっしゃる先生と、身近な施設で働いていらっしゃる介護職員の方のお話を聞くことで、生徒たちは仕事としての介護をきちんと捉えてくれました。本来であれば体験実習に行き、直接利用者さんと関わることで、いろいろ見えてきたり感じることもあったかと思いますが、講師の先生方が現場の話をたくさんしてくださり、理解を深めることができました。

まだまだ現実には、「介護イコール介護」だと思っている人が多いように感じます。もちろん介護も介護の一部ですが、生徒たちには介護職の本当の魅力を知ってほしい。利用者さんの思いを汲み取った上で利用者さんを支えていく。利用者さんの望む人生をかなえていくにはどうしたらいいのかを、専門性を生かした多職種と連携しながら実現していく。そんな介護の仕事の魅力を知り、職業選択の際に役立ててほしいと思います。

「生活支援技術」の授業は3年時に校外実習も予定されていますが、新型コロナウイルスの影響で実施できるか不確定な状況です。JRCも現在対面する活動は全て休止しています。しかし対面できなくてもできること、例えばボランティアで関わった高齢者の方々に手紙を書くなどの活動を、工夫しながら続けていきたいと思っています。

JRCに関連した活動はどんなことをしているの？

献血普及活動



献血の呼びかけ

献血紹介

献血普及活動として、文化祭で献血について調べ展示し理解を深めるとともに、日本赤十字社愛知県支部よりは一とらちゃんの着ぐるみを借用し、岡崎献血ルームの協力で頂いた啓発用の絆創膏も配布しました。

「国内災害義援金」



文化祭では毎年、献血普及活動と同時に、ジュース販売を行い、その売上金を国内災害義援金へ寄付をしています。赤十字のホームページで募集している義援金を確認して、部員で相談してどの災害義援金に寄付するか調べて決めます。そして、売り上げが義援金になることを全校生徒・教員に周知して販売しました。

献血呼びかけボランティア



夏休みと冬休みには名鉄東岡崎駅の南口に立って、駅を利用されている方へ、献血のよびかけボランティアに参加しました。

リーダーシップトレーニングセンター (通称:トレセン)



夏休みに日本赤十字社愛知県支部が主催するトレセンに参加しました。トレセンでは、ボランティア・リーダーとしての主体性を身につけることを目標として、多くのプログラムを2泊3日で取り組みました。中でも防災に関するグループワークは、南海トラフ巨大地震が来ると言われている中で私自身も含めて防災意識の低さについてとても考えさせられる時間でした。最終日には、学校に戻ってからどのようなボランティア活動に取り組むかを考えるワークショップの時間があり、得意なパソコンを活用して防災意識を高める活動をしたと考え製作しました。

NHK歳末たすけあい運動



12月にはNHK年末たすけあい募金を校内で行いました。事前に協力のチラシを作成して各クラスに掲示してもらい、朝昇降口に立って募金を募りました。感染症対策として声を出しての呼びかけは控え、パネルを持って協力の依頼をしました。

「キモチと！」



昨年度は初めて、日本赤十字社がブックオフと協力して取り組んでいる「キモチと！」に参加しました。これは、書籍やCD・DVD衣類などをブックオフに送り、その売上金が赤十字に寄付される仕組みです。今回は集めるものを協力してもらえそうな「書籍・漫画・CD/DVD」に絞って集めることにしました。また、同時にNPO法人アイキャンが実施している書き損じハガキ回収活動も併せて取り組みました。

介護理解促進事業



岡崎市「僕たち私たちの部活動×スリーハートチーム PART2」に掲載されました。

